

令和4年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	総合演習Ⅲ	
コース名	システム開発コース			担当者	小関/柿沼/佐藤マ/佐藤ヤ	
学 年	2年			教科番号	2101	単位数 2.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		選択
	△	○				
授業概要	基本情報技術者試験に合格するために、問題演習や解説などの受験対策を行なう					
到達目標	・ ハードウェアなどのテクニカル分野の知識を理解している。 ・ 情報戦略などのマネジメントとストラテジ分野の知識を理解している。 ・ 午後問題に出題される、セキュリティやアルゴリズムを理解している。					
教材名	過去問題 模擬試験など					
資格の 取得目標	2年次10月の基本情報技術者試験合格を目標とする。					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	システム開発企業で勤務経験のある教員がその経験を活かして国家試験対策を行う（5ターム、10月特別授業週に実施）					
履修に あたっての 留意点	・ 模擬試験の得点を試験の一部として評価に含める。 ・ 本試験の合格は、加点評価する。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	20%	0%	40%	40%	0%	100%

回数	講義内容
1	基本情報技術者試験 セキュリティ問題演習
2	基本情報技術者試験 セキュリティ問題演習
3	基本情報技術者試験 セキュリティ問題演習
4	基本情報技術者試験 セキュリティ問題演習
5	基本情報技術者試験 アルゴリズム問題演習
6	基本情報技術者試験 アルゴリズム問題演習
7	基本情報技術者試験 アルゴリズム問題演習
8	基本情報技術者試験 アルゴリズム問題演習
9	基本情報技術者試験 プログラム言語問題演習
10	基本情報技術者試験 プログラム言語問題演習
11	基本情報技術者試験 プログラム言語問題演習
12	基本情報技術者試験 プログラム言語問題演習
13	基本情報技術者試験 選択問題 問題演習
14	基本情報技術者試験 選択問題 問題演習
15	基本情報技術者試験 選択問題 問題演習
16	基本情報技術者試験 選択問題 問題演習

令和４年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	システム関連技術Ⅱ	
コース名	システム開発コース			担当者	小関	
学 年	2年			教科番号	2102	単位数 2.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	△		○			
授業概要	Webサービスの実現になくてはならないサーバをはじめとしたインフラ環境構築やエンジニアの業務を効率化するサービスの活用などに関する理解を講義と実習を通じて学習する。					
到達目標	・ シェルスクリプトを一定期間おきに実行することができる。 ・ バージョン管理システムを利用することができる。 ・ クラウドサービスの利用方法について理解できる。					
教材名	配布プリント					
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経験の 関連性	システム開発企業で勤務経験のある教員がその経験を活かしてUNIX, サーバ, ストレージ, 仮想化, シェル, ネットワークコマンド, セキュリティについて授業を行う					
履修に あたっての 留意点	・ 授業の理解度をはかるため期末テストを実施し、それも評価に含める。 ・ 課題進捗状況を確認し、進捗具合を評価に含める。 ・ スマートフォンなどの使用は禁止する。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	20%	30%	30%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	イントロダクション システム開発を取り巻く環境 開発効率化の取り組み
2	システム開発で使用するサービス紹介
3	バージョン管理システム
4	アジャイル開発
5	〃
6	〃
7	Dockerを使用したコンテナの仕組み
8	Dockerを使用した開発環境の構築
9	Docker環境構築
10	〃
11	〃
12	〃
13	コーディング規約・システム開発のルール
14	期末課題
15	〃
16	〃

令和４年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	次世代テクノロジー研究		
コース名	システム開発コース			担当者	小関/佐藤/柿沼		
学 年	2年			教科番号	2103	単位数	6.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修	
	△		○				
授業概要	近年話題となっているIT業界のトレンドを自ら調査・研究する。研究した技術を使用し、グループワークで企画・開発を行ない、文化祭で展示する。						
到達目標	・ IT業界に関する情報を自ら調査し、レポートにまとめることができる。 ・ 文化祭来場者視点で楽しんでもらえる企画を立案することができる。 ・ グループで協力しながら開発し、期限内に完成することができる。						
教材名							
資格の 取得目標							
授業内容と 教員の実務経験の関連性	システム開発企業で勤務経験のある教員がその経験を活かして最新のデバイスを活用したプログラミング技術の研究について授業を行う						
履修にあたっての 留意点	・ 授業中でのスマートフォンの使用は禁止する。 ・ グループでの役割や貢献度、作品の完成度を評価する。						
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計	
割 合	0%	35%	35%	30%	0%	100%	

回数	講義内容
1	授業概要説明
2	IT業界最新トレンドの調査
3	研究グループ決め、企画立案
4	企画立案
5	企画書作成
6	〃
7	研究・グループ制作
8	〃
9	〃
10	〃
11	〃
12	〃
13	〃
14	〃
15	〃
16	〃
17	〃
18	〃
19	〃
20	〃
21	〃
22	〃
23	〃
24	〃
25	〃
26	〃
27	〃
28	〃
29	〃
30	〃
31	〃
32	〃

回数	講義内容
33	研究・グループ制作
34	研究・グループ制作、オープンキャンパスに向けての展示検討、ドキュメント作成
35	〃
36	〃
37	〃
38	〃
39	〃
40	研究・グループ制作、楠祭に向けての展示検討、ドキュメント作成 展示作品完成
41	オープンキャンパスに向けての展示検討、ドキュメント作成、作品展示に向けての動作確認
42	〃
43	最終提出版作品作成
44	〃
45	〃
46	最終提出版ドキュメント作成
47	〃
48	〃

令和4年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	モバイルアプリ研究		
コース名	システム開発コース			担当者	柿沼		
学 年	2年			教科番号	2104	単位数	6.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修	
	△		○				
授業概要	JavaScriptを活用したフロントエンドの開発手法の学習を行なう。 Ionicを使用し、クロスプラットフォーム開発ができる技術を習得する。						
到達目標	・ HTMLを使用し、Webページが作成できる。 ・ CSSを使用し、Webページに装飾ができる。 ・ JavaScriptを使用し、Webページに動きを付けることができる。 ・ Vue.js, Ionicを使用し、モバイルアプリの開発ができるようになる。						
教材名	これからはじめる人のJavaScript/Vue.jsの教科書 マイナビ						
資格の 取得目標							
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	独立系SI企業で勤務経験のある教員がその経験を生かして、JavaScriptを用いたモバイル向けクロスプラットフォーム開発について授業を行う						
履修に あたっての 留意点							
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計	
割 合	0%	70%	10%	20%	0%	100%	

回数	講義内容
1	オリエンテーション HTML CSS JavaScriptの役割 開発環境構築
2	HTML HTML基礎
3	HTML リンクの設定と画像挿入
4	HTML フォームの設定
5	CSS CSS基礎
6	CSS プロパティ
7	CSS 表作成 レイアウト
8	レスポンス対応
9	課題演習
10	オブジェクト指向のおさらい
11	JavaScript 文章表示、アラート
12	JavaScript 四則演算、変数
13	JavaScript Date型、テンプレート文字列、プロパティ
14	課題演習
15	JavaScript 分岐処理・反復処理
16	JavaScript 配列処理
17	JavaScript 関数
18	課題演習
19	JavaScript クラス定義
20	JavaScript JSONの読み取り
21	課題演習
22	JavaScript EventListener blur
23	JavaScript Timer
24	課題演習
25	JavaScript 非同期通信
26	JavaScript ローカルストレージ
27	課題演習
28	Vue.jsとは その他のJavaScriptライブラリの紹介 Vue.jsのインストール
29	Vue.js 文章表示
30	Vue.js テキスト装飾、アニメーション
31	Vue.js 分岐、反復
32	Vue.js 配列 v-on

回数	講義内容
33	Vue.js コンポーネント作成
34	Vue.js コンポーネント実践
35	Vue.js まとめ
36	Ionicとは その他のネイティブ開発向けのフレームワークの紹介 Ionicのインストール
37	Ionic プロジェクト作成
38	Ionic プログラム実装
39	Ionic スマートフォンへのデプロイ
40	修了課題
41	〃
42	〃
43	〃
44	〃
45	〃
46	〃
47	〃
48	〃

令和4年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	システム構築	
コース名	システム開発コース			担当者	正田	
学 年	2年			教科番号	2105	単位数 12.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	△		○			
授業概要	VisualC#のプログラミング技術を修得し、SQLServerのデータベースを用いたASP.NET Webアプリケーション開発技法を学習する。					
到達目標	・ VisualC#の基本的なプログラミングができる。 ・ Microsoft.NET Frameworkの利用技術を理解している。 ・ ASP.NETおよびADO.NETの基本的なプログラミングができる。 ・ 基本的なWebアプリケーションを作成する事ができる。 ・ データベースサーバの基本操作を理解している。					
教材名	ASP.NETの基礎（プリント）、オンラインショッピングの開発（プリント）					
資格の 取得目標	なし					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	システム開発企業で勤務経験のある教員がその経験を活かしてWebアプリケーション開発、C#.net、ASP.net、SQLServerについて授業を行う					
履修に あたっての 留意点	・ 前期及び後期のWebアプリケーション制作課題により評価する。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	60%	10%	30%	0%	100%

回数	講義内容
1	I. Webアプリケーションとは
2	Webアプリケーションとは ネイティブアプリとの違い サーバーサイド技術とクライアントサイド技術 .NET Frameworkの概要を理解する。 ASP.NETの概要 プロジェクトの作成
3	II. コードビハインド イベントハンドラの生成
4	〃
5	〃
6	III. ポストバック
7	ポストバックの概念 Page_Loadイベント ページインスタンスの破棄と再生成 ページロード時のポストバック判定
8	〃
9	〃
10	IV. 入力検証コントロール
11	〃
12	〃
13	V. 画面遷移と状態管理
14	〃
15	〃
16	VI. デバッグ
17	〃
18	VII. ADO.NETによるデータアクセス
19	SQL Server GUI管理ツールの設定 Windowsファイアウォールの設定 Windowsサービスの設定 SQL Server 環境設定ツールの設定 アプリケーションの開発 Webサイトの発行
20	〃
21	〃
22	VIII. データバインド
23	SQLDataSourceの作成 データの登録機能の実装 カスタムデータバインド TemplateField列を使用した値の取得とレコードの更新 ButtonField列を使用した値の取得とレコードの更新
24	〃
25	〃

回数	講義内容
26	IX. ドロップダウンリストの作成
27	〃
28	〃
29	X. DataViewクラスとDataTableクラス
30	〃
31	〃
32	〃
33	XI. 例外処理 (Try～Catch)
34	
35	〃
36	〃
37	XII. 値の丸め
38	〃
39	〃
40	XIII. 同時実行制御
41	〃
42	〃
43	XIV. ストアドプロシージャ
44	〃
45	〃
46	前期終了課題
47	〃
48	〃
49	Webアプリケーションの開発実践 オンラインショッピングサイトの構築① マスタページの実装
50	〃

回数	講義内容
51	〃
52	〃
53	〃
54	オンラインショッピングサイトの構築② 商品一覧の表示
55	〃
56	〃
57	〃
58	〃
59	オンラインショッピングサイトの構築③ データベースへの書き込み
60	〃
61	〃
62	〃
63	〃
64	オンラインショッピングサイトの構築④ データベースからの取り出しと更新
65	〃
66	〃
67	〃
68	オンラインショッピングサイトの構築⑤ マスターページへのサマリー表示
69	〃
70	〃
71	〃
72	〃
73	オンラインショッピングサイトの構築⑥ 顧客情報の管理 会員情報の登録とログイン機能
74	〃
75	〃

回数	講義内容
76	〃
77	〃
78	オンラインショッピングサイトの構築⑦ 会計決裁機能の実装
79	〃
80	〃
81	〃
82	〃
83	オンラインショッピングサイトの構築⑧ 商品登録機能の実装
84	〃
85	〃
86	〃
87	〃
88	オンラインショッピングサイトの構築⑨ 顧客一覧機能の実装
89	〃
90	〃
91	オンラインショッピングサイトの構築⑩ 顧客別商品別売上集計機能の実装
92	〃
93	〃
94	オンラインショッピングサイトの構築⑪ ストアードプロシージャを利用したWebサイトの作成
95	〃
96	〃

令和４年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	アプリケーション実習		
コース名	システム開発コース			担当者	長瀬		
学 年	2年			教科番号	2106	単位数	4.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修	
	△		○				
授業概要	アプリケーションソフトのWORD, EXCELの初級技術を身につけるために、講義・問題演習を繰り返しながら学ぶ。						
到達目標	①Microsoft Excelを用いてビジネス社会における簡単なワークシートの作成とデータの入力を行うことができる。 ②パソコン、表計算、ビジネス図表に関する基礎的な技能を修得する。						
教材名	30時間でマスター office 2019／実教出版 プリント						
資格の 取得目標	サーティファイ EXCEL表計算技能認定試験 3級以上						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性							
履修に あたっての 留意点	①提出物の項目は、完成度だけでなく提出期限が守られていたかなども評価対象とする。 ②スマートフォンアプリやwebでの動作検証、スマートフォンアプリやweb教材の参照、e-ラーニングでの学習を除きスマートフォンなどの使用は禁止する。						
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計	
割 合	20%	50%	10%	20%	0%	100%	

回数	講義内容
1	WORD対策:表を活用した文書、スタイル定義、段組)
2	〃
3	WORD対策(ビジュアルな文章の作成、図形描画、色の変更、テキストボックス)
4	〃
5	WORD対策(他のソフトの利用、イラストの挿入、イラストの移動)
6	〃
7	EXCEL対策(関数と計算、論理関数(IF+IF))
8	〃
9	EXCEL対策(関数と計算、検索／行列関数(VLOOKUP、HLOOKUP))
10	〃
11	EXCEL対策(関数と計算、情報関数、日付／時刻関数)
12	〃
13	EXCEL対策(データベース関数、DSUM、DAVERAGE、DCOUNT)
14	〃
15	EXCEL対策(複合グラフ、バブルチャート、3-Dグラフ)
16	〃
17	EXCEL対策(コメントの挿入、条件付き書式、入力規則)
18	〃
19	EXCEL対策(検索と置換、表示形式のユーザ定義、スタイル)
20	〃
21	EXCEL対策(リンク、OLE機能、3D集計、データの統合)
22	〃
23	EXCEL対策(ブック・ワークシート・セルの保護、ゴールシーク)
24	〃
25	EXCEL対策(マクロの記録と実行)
26	〃
27	検定問題対策
28	〃
29	〃
30	〃
31	〃
32	〃

令和４年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	プレゼンテーション技法	
コース名	システム開発コース			担当者	小関・柿沼	
学 年	2年			教科番号	2107	単位数 2.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	△		○			
授業概要	・聴衆の心を掴むプレゼンテーションの基礎知識を学ぶ ・プレゼンテーションソフトの活用方法を学ぶ ・卒業研究発表会に向けて、プレゼンテーションを作成する。					
到達目標	・Microsoft Office Power Pointの基本的なスライドが作成できる。 ・プレゼンテーションにおける配布用資料の作成ができる。 ・目的を達成するために、わかりやすく効果的なプレゼンができる。					
教材名	配布プリント					
資格の 取得目標	なし					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	システム開発企業で勤務経験のある教員がその経験を活かしてコミュニケーション技法、PowerPointについて授業を行う					
履修に あたっての 留意点	・個人プレゼンテーションを行ない、発表内容とスライドを評価する。 ・卒業研究発表会の為のプレゼン内容を評価する。 ・プレゼンは提出物として評価する。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	60%	20%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	プレゼンテーションの基礎 プロのプレゼンテーションを見て効果的なプレゼンテーションとは何かを知る。(TED、ImageCupなど)
2	PowerPointの基本操作(実習) ・作業ウィンドウ ・メニュー/ボタン ・文字の修飾 ・スライドの追加、削除、デザインの設定
3	PowerPointの基本操作(実習) ・レイアウトの変更 ・アニメーション効果 ・テーマの変更 ・スライドショーの設定 ・スライドマスター
4	効果的な発表方法についての学習 ・スライドの構成、流れ、統一感、発表時間、声や動作、姿勢など。テーマを設定しプレゼンテーション作成
5	〃
6	〃
7	〃
8	〃
9	プレゼン講評会用の準備 プレゼンテーション作成 ・スライドの準備 ・発表用原稿の準備 ・情報集め
10	〃
11	〃
12	〃
13	プレゼン講評会用の準備 発表演習 ・発表の流れ、声や態度などの学習
14	卒業研究用のプレゼンテーションの作成 ・発表のコンセプト ・構成 ・作成スケジュール ・担当割り当て
15	卒業研究用のプレゼンテーションの作成 ・技術面、スライドの見せ方の指導
16	卒業研究用のプレゼンテーションの作成 ・卒業研究プレゼンチェック

令和４年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	卒業研究	
コース名	システム開発コース			担当者	小関/柿沼/押山/須永/卒研担当	
学 年	2年			教科番号	2108	単位数 14.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	△		○			
授業概要	2年間の総合的な学習成果として、グループで作品をつくる					
到達目標	①卒業研究の意義に基づいて立案した企画が、指導担当教員の承認を得ることができる ②自ら立てたスケジュールに基づき、作業を遂行し記録することができる ③グループで定めた完成目標に基づき、修得した知識・技能や自主的な調査・研究を行い、作品という形で具現化できる					
教材名	なし					
資格の 取得目標	なし					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	システム開発企業で勤務経験のある教員がその経験を活かして卒業研究グループ制作を行う					
履修に あたっての 留意点	・提出物の項目は、完成度だけでなく提出期限が守られていたかなども評価対象とする。 ・授業態度の項目は、授業の終期に個人及びグループ総括を行い、作品及びグループへの貢献度も評価対象とする。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	35%	35%	20%	10%	100%

回数	講義内容
1	卒業研究の意義、卒業研究授業スケジュール管理について、提出フォルダ構成の説明
2	テーマ検討・決定、グループ編成、
3	〃
4	〃
5	〃
6	〃
7	〃
8	企画書作成・編集、週間作業報告書作成
9	〃
10	〃
11	〃
12	〃
13	〃
14	〃
15	〃
16	〃
17	〃
18	〃
19	〃
20	企画書作成・編集、週間作業報告書作成、中間チェック(企画書の内容を教員にプレゼンテーションする)
21	〃
22	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
23	〃
24	〃
25	〃
26	〃
27	〃
28	〃
29	〃
30	〃
31	〃
32	〃

回数	講義内容
33	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
34	〃
35	〃
36	〃
37	〃
38	〃
39	〃
40	〃
41	〃
42	〃
43	〃
44	〃
45	〃
46	〃
47	〃
48	〃
49	〃
50	〃
51	〃
52	〃
53	〃
54	〃
55	〃
56	〃
57	〃
58	〃
59	〃
60	〃
61	〃
62	〃
63	〃
64	〃

回数	講義内容
65	〃
66	〃
67	〃
68	〃
69	〃
70	〃
71	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成 β版(動作確認が可能な)作品提出
72	〃
73	〃
74	〃
75	〃
76	〃
77	〃
78	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
79	〃
80	〃
81	〃
82	〃
83	〃
84	〃
85	〃
86	〃
87	〃
88	〃
89	〃
90	〃
91	〃
92	〃
93	〃
94	〃
95	〃
96	〃

回数	講義内容
97	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
98	〃
99	〃
100	〃
101	〃
102	〃
103	〃
104	〃
105	〃
106	〃
107	〃
108	〃
109	卒業研究総括
110	〃
111	〃
112	〃

令和４年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	キャリアデザインⅡ		
コース名	システム開発コース			担当者	小関/柿沼/坪井		
学 年	2年			教科番号	2109	単位数	6.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修	
	○	#REF!	#REF!				
授業概要	キャリア教育を通じて、職業人として必要な責任感、誠実さ、協調性、柔軟性、倫理観を持ち、社会的・職業的自立に向けた基盤となる能力や態度を学び、修得する。そのために、実践行動学プログラムや、アサーショントレーニングなど複合的に学ぶ。						
到達目標	①学ぶこと、働くことの意義、多様性を理解する。 ②実践行動学や自己ブランディングや外部・内部講演などを通じて、自己理解が出来る。 ③自己の適性に合わせた内定先を見つけ、積極的な就職活動を行う。 ④規律ある学生生活を送る。 ⑤行事の意義を理解し、積極的に役割を持ち、参加する。						
教材名	・夢実現のための実践行動学／実践行動学研究所出版 ・入社１年目の教科書／ダイヤモンド社 ・超速マスター！一般常識&時事問題／高橋書店 ・授業配布プリント						
資格の 取得目標	なし						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	システム開発企業で勤務経験のある教員がその経験を活かして就職活動に必要な履歴書作成や面接練習等、就職指導を行う						
履修に あたっての 留意点	①行事の出席・取り組み状況も評価の中に含める。 ②提出物の項目は、完成度だけでなく、提出期限が守られていたかなども評価対象とする。 ③授業とは関係のないものの使用は不可とする。						
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計	
割 合	0%	20%	40%	40%	0%	100%	

回数	講義内容
1	オリエンテーション、各種委員選出
2	2_就職活動について
3	実践行動学Part3 社会にでる準備をはじめようマジックドア1
4	就職活動指導
5	実践行動学Part3 社会にでる準備をはじめようマジックドア2
6	適職開発室講義(自己分析と職業選択)
7	実践行動学Part3 社会にでる準備をはじめようマジックドア3
8	校長先生講義(就職活動選考時の心構えと行動について)
9	実践行動学Part3 社会にでる準備をはじめようマジックドア4
10	就職部講義(人事担当からみた今年の学生の情報)
11	実践行動学Part3 社会にでる準備をはじめようマジックドア5
12	就職活動基礎知識の復習
13	就職活動指導(履歴書、自己PRブラッシュアップ)、個人ガイダンス
14	就職活動指導(履歴書、自己PRブラッシュアップ)、個人ガイダンス
15	就職活動指導(サイトの活用、企業との連絡の仕方)
16	就職活動指導(サイトの活用、企業との連絡の仕方)
17	就職活動指導(クラス内情報交換)
18	就職活動指導(クラス内情報交換)
19	就職活動指導(入社試験の種類、模擬試験)
20	就職活動指導(入社試験の種類、模擬試験)
21	就職活動指導(面接指導)
22	就職活動指導(面接指導)
23	就職活動指導(面接指導)
24	就職活動指導(面接指導)
25	就職活動指導(個人ガイダンス)、楠祭準備
26	就職活動指導(個人ガイダンス)、楠祭準備
27	就職活動指導(個人ガイダンス)、楠祭準備
28	就職活動指導(個人ガイダンス)、楠祭準備
29	就職活動指導(個人ガイダンス)、楠祭準備
30	就職活動指導(個人ガイダンス)、楠祭準備
31	就職活動指導(個人ガイダンス)、楠祭準備
32	就職活動指導(個人ガイダンス)、楠祭準備

回数	講義内容
33	特別講演(9月)、未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
34	未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
35	未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
36	未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
37	特別講演(10月)、未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
38	未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
39	未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
40	未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
41	特別講演(11月)、未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
42	未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
43	未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
44	未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
45	特別講演(1月)、未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
46	未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
47	未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導
48	未内定者就職活動指導・ビジネスマナー指導

令和４年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	企業実習	
コース名	システム開発コース			担当者		
学 年	2年			教科番号	2110	単位数 2.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		選択
			○			
授業概要	企業や病院でのインターンシップ（保育科はボランティア活動）					
到達目標	1. 企業や病院の業務を直接体験することによって、基本姿勢を学ぶ。 2. 自分から積極的に挨拶ができるようになる。 3. 社会人として通用する立ち振る舞いを学ぶ。 4. 社会人として恥ずかしくない言葉遣いができる。 5. 自ら報告・連絡・相談ができるようにする。 6. 就職活動を真摯に行う心構えをつくる。					
教材名	補助プリント					
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	企業で実務を行っている社員が経験を活かして実習を行う					
履修に あたっての 留意点	事前事後指導も評価に含める 提出期限を厳守					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	30%	20%	30%	20%	100%

回数	講義内容
1	事前学習: 1. 趣旨説明2. 書類の説明3. 企業(病院)の選択 4. 実習日誌(目標)記入
2	事前学習: 1. 趣旨説明2. 書類の説明3. 企業(病院)の選択 4. 実習日誌(目標)記入
3	実習
4	〃
5	〃
6	〃
7	〃
8	〃
9	〃
10	〃
11	〃
12	〃
13	〃
14	〃
15	事後実習: 1. お礼状の送付2. 実習報告書の提出
16	事後実習: 1. お礼状の送付2. 実習報告書の提出